

## 第4回 各務原市学校建替基本方針策定委員会 議事録（要旨）

日 時 令和5年2月24日（金） 13時30分～16時30分  
 場 所 産業文化センター2階 第3会議室  
 出席委員 鈴木賢一委員長、服部吉彦副委員長、福島茂委員、奥村美樹恵委員、  
 佐藤幹彦委員、篠田勲委員、熊崎健二委員、阿部雄介委員、杉山幹治委員、  
 尾関加奈子委員  
 議 題 議題1 新たな学校づくりにかかわるアンケートの事前ヒアリング結果について  
 議題2 アンケート調査内容について  
 議題3 図書館、執務空間、配慮を要する子の空間について

### 議事録（要旨）

#### 1. 開会宣言

#### 2. 議題

議題1：新たな学校づくりにかかわるアンケートの事前ヒアリング結果について

議題2：アンケート調査内容について

|       |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局説明 | 資料説明<br>資料1 検討フロー(第2回各務原市学校建替基本方針策定委員会<br>資料5(改訂3))<br>資料2 新たな学校づくりにかかわるアンケートの事前ヒアリング（報告）<br>資料3 アンケート調査（1回目）（修正案）                                                                                                                                         |
| 委員長   | 「新たな学校づくりにかかわるアンケートの事前ヒアリング」に関して、ヒアリングを実施した「新しい学習スタイルを創造する会」は、小学校、中学校の先生は含まれているか。                                                                                                                                                                          |
| 事務局   | 「新しい学習スタイルを創造する会」は、10名程度で、校長先生以外にも様々な役職の方々と構成されている。<br>ヒアリングの他にプレアンケートを実施し、プレアンケートは「新しい学習スタイルを創造する会」の方と関係する教職員の方に実施した。                                                                                                                                     |
| 委員    | ヒアリングの意見や事例をみていくと、学校の整備時点の事情や、敷地等の条件によって整備する内容や機能は学校によって異なってくると感じている。こうしたヒアリング結果は、ひとつのたたき台となるので、今後のアンケートの結果も追加しながら必要な機能などをブラッシュアップしていければ良い。<br>アンケートについて、保健室はとても大事な空間・機能と思うが、その保健室の設問がない。保健室の設問については別途作成してもいいのではないかと。保健室や校長室は、子どもたちの落ち着く空間として重要な役割でもあると思う。 |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | 保健室については、設問を設けるようにする                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 委員長 | 学校によっても事情は違うと思うが、保健室の設問は必要と思う。                                                                                                                                                                                                                                            |
| 事務局 | 保健室に関して、保健室の活用という意味合いで、アンケートでも確認していきたいと思う。学校の先生からもアドバイスをいただければ良いと思う。                                                                                                                                                                                                      |
| 委員  | 保健室には、体調不良などで体が汚れてしまうことも想定されるのでシャワールームを併設している場合がある。休養ベッドについては、学校規模にもよるが各校で2～3程度あると思う。ベッドを活用する児童生徒の中には、少し休めばよい場合もあるが、コロナ渦である現時点では、そのような体調の子でも密を避けるために早退で対応をしている。少し休めばよい場合のことも想定し、学校規模に応じたしつらえを考えても良い。                                                                      |
| 委員  | ヒアリング結果の課題と期待の区分は重要と考えている。この辺りを仮説として、方針を検討していければと思う。<br>アンケートで、基本的な聞き方が「最も重視されるものを選択する」こととなっているが、選択肢の内容によって、意見の偏りが発生することが危惧される。設問によっては、複数回答にすると偏りなく意見を拾うことができる場合もあるのではないかな。<br>特別教室や特別支援教室について、それぞれ課題内容が異なると思うので、特別室ごとの設問とし、各担当教科の担当の先生に答えてもらっても良いと思う。管理諸室、校長室、保健室も同様に思う。 |
| 事務局 | 中学校の教職員は各担当教科をもっているが、小学校の教職員は担当教科がない場合が多い。どのような聞き方が適しているのかご意見を頂きたい。                                                                                                                                                                                                       |
| 委員  | 小学校でも教科別に対応することもあるので、小学校の教職員に対しても同様に教科担当者で聞いてもよい。特別教室をよく使用する先生に聞くことで課題が明らかになると思う。                                                                                                                                                                                         |
| 委員  | 中学校は、小学校よりも教科担当の意見が重要と思うので、教科担当に聞いてもらう方が良い。                                                                                                                                                                                                                               |
| 委員長 | この段階で知りたいことが何かを整理し、適度に細かくしてはどうか。なるべく各担当教員が応えられるように分けてアンケートができれば良いと思う。                                                                                                                                                                                                     |
| 委員  | 児童生徒のアンケートについて、保健室で「どのように過ごしたいのか」「どのような使い方を望むのか」を聞いた方が良い。最終的にどのような空間であってほしいかを考えてもらいたい。                                                                                                                                                                                    |
| 委員  | ある学校では、小学生から図書館で横になって本を読みたいという意見が出された。「どのように使いたいのか」ということは重要に思う。                                                                                                                                                                                                           |
| 委員  | 児童アンケートの【問7】について、体育館も運動場も同じ質問内容であるが、体育館・運動場でそれぞれの機能があるので、それに応じて聞いていきたい。                                                                                                                                                                                                   |
| 委員  | どんな運動場であれば、どのような活動ができるのかが明らかになる方が良                                                                                                                                                                                                                                        |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | い。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 委員  | 児童アンケートでも「普通教室にあったら良いと思うもの」を選択式で回答してもらいように必要な機能を把握できればよいと思う。もっと夢のある選択肢になっても良いと思う。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 委員  | 図書館は、子どもたちにとっての夢のスペースである。以前、勤めていた学校で、畳を入れてほしいなどの意見があった。いろんな空間があるとよい。子供は大人が思いつかない発想をもっている。                                                                                                                                                                                                                                              |
| 委員長 | 児童アンケートの【問4】の設問は、学校別の満足度調査になってしまう。それでは、次の展望が語れないので、質問を大きく変えた方がよいと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 委員  | 事例があるとイメージができ分かりやすい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 委員長 | 中学校と小学校と同じアンケートだが中学だけに聞く質問と小学校に聞く質問は違うように思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委員  | 皆さんが言われた意見に関して、アンケートでは今の学校の教室等について聞いているので原案で良いのではないか。                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 委員  | 児童アンケートで現状に対する意見を聞くことも大事だと思う。ただ、今回はもっと違うことを引き出せればよいと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 委員  | 選択肢では、各空間に対する具体的な意見を聞けば良いと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 委員  | 今回の策定委員会では、30年後の未来を想定して検討していると思っている。ただ、改善策だけでは大枠は変わらない。どんな目標をイメージして改善を進めるべきか。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局 | 日本の国としての新たな教育では、学んだ知識だけでなく、得意な分野を中心に様々な要素を組み合わせで発想できるような学校教育にしようという方針が示されている。そうした方針があるなかで、それ以外の教育のあり方を目指すことはあり得ない。これを実現する施設にするためにはどうしたらよいか。回答としては非常に難しいが、これからの委員会内でのまとめ方としては、事務局から目指す教育を実現する施設について案をお示しし、内容について委員会内で審議していただくというようなまとめ方になると考えている。必要な機能を把握し、敷地条件などに応じて、工夫できる観点も整理していきたい。各務原市として、『優しい学校』や『つながりを大事にする』という視点で、整理できればと考えている。 |
| 委員長 | アンケート自体は良いと思うが、想像できる未来について、これまであまり注目していなかった視点が出てくることに期待している。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委員  | 先進事例については重要と思う。数が少なくても、積極的に取り入れていきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 委員  | 資料3-2-3頁に国の目指している学校のあり方があるが、これがベースであると考え。子どもにとって安心、安全で快適な居場所となることが重要。これ                                                                                                                                                                                                                                                                |

|    |                                                                                                                                    |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | を実現するための学びや生活をどうするかという点を検討すべきと思う。この国が出している方針は必要と考えているので、先進事例等を整理し、参考になる内容から各務原市のあり方を検討していきたい。                                      |
| 委員 | 特別教室等のアンケートに関して、小・中学校の専門教科担当者にヒアリングして先生たちに議論してもらうなど、先生の属性部分で立場や担当教科に関して聞いた方がよい。<br>関係者へのワークショップは行った方がよいと思うが、アンケートの枠組みを活用した方がよいと思う。 |

### 議題3 図書館、執務空間、配慮を要する子の空間について

|     |                                                                                                                                |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | 資料説明<br>資料4：本市における現状<br>資料5：検討内容（図書館、執務空間、配慮を要するこの空間）<br>資料6：他都市事例<br>追加資料：特別支援学級・通級指導教室について                                   |
| 委員  | 図書室では図書を貸し出す以外の使い方はしているのか、学校の先生にお聞きしたい。                                                                                        |
| 委員  | 授業中に使用するということはあるがそれ以外はない。                                                                                                      |
| 委員  | 月に2～3回、地域の方を先生に招いて勉強会をするときに、図書館を会場として使用している。                                                                                   |
| 委員  | 中学生は、市の図書館や飲食店を利用して勉強している。そのような現状をみると、放課後に学校の図書館がその役割を担えるとよい。                                                                  |
| 委員  | 以前、『本の街各務原』を取り組んだ時に学校図書館を開放したが、あまり需要がなかった。ニーズがあれば、今でも開放できる。                                                                    |
| 委員長 | 蔵書が市民ニーズに合っていないと思う。                                                                                                            |
| 委員  | 瀬戸市では市の図書館と連携し、週に何回か司書の来訪機会を設ける取り組みを行っている。                                                                                     |
| 委員  | 大階段のある図書室を例示しているが、こういった空間を取り入れた場合の評価を参考にしたい。こういった提案とのアンケートがリンクできれば良いと思う。                                                       |
| 事務局 | 大階段については、休み時間にくつろぐ空間でもあるが、音楽の発表会等の授業にも使える空間になるというメリットはある。鍵のかかる図書館になってなくて、通りすがりに本を見つけるなどの工夫がなされている。また、こういった提案をアンケートとリンクできればと思う。 |
| 委員長 | ICT 関連でネットの活用もあるので、そうした事例を整理してもらいたい。                                                                                           |
| 委員  | タブレットで読むというケースも多いと思われる。本を読むだけではないニー                                                                                            |

|     |                                                                                                                                                    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | ズにも対応しても良いのではないか。                                                                                                                                  |
| 委員  | 提案にある大階段のある空間ということに感心した。本当に本が好きな人は20分の休憩時間に本を読んでいる。調べ空間や楽しみ方も紙や映像、タブレットという空間設定は良いと思う。                                                              |
| 委員  | 一方で中学校では、朝読書の時間を設け、紙の本を読む時間を確保する計画をしている。昨今は何をするにしてもタブレットなので、離れる時間を作ることも必要だと考えている。読解力を高めるためにも図書館は重要だと思う。通いたくなる図書館で紙に没頭する空間も良いと思う。                   |
| 委員  | 本を読むかどうかは、本が身近にあるなど環境によって大きく変わってくる。大階段に本が設置されていると本に触れる機会も増えて良いと思う。                                                                                 |
| 委員  | 職員室の例示的那加中学校の写真は、先生が座っていないので広く見えるが先生が座ったら狭いと思う。資料5にあるような執務スペースがあればありがたい。                                                                           |
| 委員  | 教材作成や配布物について印刷物やタブレットの活用など、現状では変わってきていると思うがどうか。                                                                                                    |
| 委員  | 大きく拡大する必要があるものもあるので、電子黒板に投影している。作業スペースについては都度工夫している。児童・生徒が作った掲示物は掲示しているが、全体としてみると紙媒体の掲示物は半減していると思う。                                                |
| 委員  | 教職員の休憩スペース等が充実できるかがカギであるように思うがどうか。                                                                                                                 |
| 委員  | 先生の数によっても必要なスペースが違うと思う。資料にあるような休憩スペースなどの空間は重要だと思う。                                                                                                 |
| 委員  | 今後どのような学校にしたいかに関して、現状では考えてはいないが、将来的に小中一貫校となった場合には、同じ空間で1年生～9年生までを教える必要があり、空間自体もとり方が変わってくるということも視野にいれておくとうい。学校のあり方によって、職員室のあり方なども変わってくる。            |
| 委員長 | 小学校では、女性職員が多くなっている。女性職員用トイレの数など、女性の働く場所としての働きやすさにも配慮したい。                                                                                           |
| 委員  | 教職員のフリースペースやロッカースペースに関して、理想を持ちながらも、現実的なところに落とし込んでいく必要はある。状況変化に対応できるような空間づくりと、本当に必要なスペースを把握し優先順位をつけていく必要がある。<br>提案に、ヒアリングであがった内容で重要と思われる内容を反映するとよい。 |
| 事務局 | ヒアリングの内容を反映しようと思う。                                                                                                                                 |
| 委員  | 配慮が必要な児童・生徒には、ゆったりとしたスペースと、毎日行きたいと思える空間が良いと思う。                                                                                                     |
| 委員  | 資料 5-9 頁【多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応の方向性】にある                                                                                                              |

|     |                                                                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 「保健室、保護者等の相談スペース等について、ICT を活用した学習・指導が行える環境を整えるとともに、安心して使用できるよう、リラックスできる空間とする」とあるが、この空間は配慮が必要な児童生徒が ICT を活用することで授業へ参加することもできる空間というイメージか。 |
| 事務局 | モニター等を使って、別室や閉じられた空間で同じ授業を受けることができるというイメージである。                                                                                          |
| 委員  | 資料 5-7 頁、【多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応】について、今回の検討では学校づくりのハード部分を検討しているので、各対象に、どのようなニーズがあって空間的に何が必要なのかが重要なので、それらを整理する必要がある。                       |
| 委員  | 岐阜女子大学に行った際、個室のみのトイレを使用する機会があった。全部個室になれば、使いやすくなるのではないかと感じた。                                                                             |
| 委員長 | トイレについてはまだ、正解がつかめていない。今後トイレの内容を議論する場があるので、そこで深堀したい。                                                                                     |

#### 4. 今後のスケジュール（予定）

次回の委員会は 4 月 28 日(金)産業文化センター2 階第 3 会議室にて開催を予定している。